



国際ロータリー第 2620 地区(静岡・山梨)
米山記念奨学生学友会

会報 Vol.6 2015-16 年度



撮影: ラシタ・エリヤワ会員 (スリランカ、2006-07 年度、甲府南 RC)

2016 年 5 月発行

目 次

(敬称略)

1. 今年度の活動を振り返って・・・・・・・・・・2620 地区米山学友会会長 篠原曉恵
2. 米山学友会報によせて・・・・・・・・・・地区ガバナー 野口英一
3. よりよい親睦交流を・・・・・・・・・・地区米山記念奨学委員長 雨宮哲也
4. 米山記念奨学委員 二年生の記・・・・・・・・・・地区米山記念奨学委員 小沼孝次
5. 終了式を迎えた米山奨学生の皆さんへ・・・・・・・・・・米山奨学生カウンセラー 小尾博之
6. 感謝を込めて・・・・・・・・・・米山奨学生 鐘 佑希
7. 2015-16 年度学友会理事役員リスト
8. 2015-16 年度学友会正会員リスト
9. 今年度の活動記録 (写真)
10. 2015-16 年度期間終了した米山奨学生リスト
11. 2016-17 年度新規・継続米山奨学生リスト
12. 編集後記

1. ご挨拶——今年度の活動を振り返って

2620 地区米山学友会 会長

シノハラ シャオフェイ

篠原 曉恵（台湾、1985-87 年度、船橋西 RC）

今年 3 月 1 日で米山奨学生学友会（以下：米山学友会）は 7 周年を迎えました。

振り返ると、第一回総会に参加した時は、誰も知らない不安を抱えながら初めて家族連れ富士山清掃に参加しました。その時にロータリアンの皆様が暖かく迎えてくれた事を、昨日のここのように思いだします。

今年度の活動は、例年同様、地区大会の参加と米山奨学委員会への「業務補助」がメインとなっている。特に地区大会では、台湾からの RI 会長代理黄慶淵様ご夫妻の通訳を担当させて頂き、少し恩返しができました。

私は、1980 年日本の最新建築技術を求めて留学しました。1985 年から 1987 年の日本大学生産工学部建築工学科修士課程で、奨学金を受けて千葉県西船橋 RC にお世話になっておりました。23 年前に、主人の転勤で三島に定住する事になり、ご縁があつて学友会の一員になりました。

実は、上がり症の私は、多く人前で話をするのは苦手で、会長の役を務め、不安を抱えたまま任期満了を迎えることができました。これも、上野副会長をはじめ、学友・ロータリアン及び奨学生の皆様の支えがあつての結果でした。心から感謝とお礼を申し上げます！

また、今日の米山奨学生学友会は、歴代会長の努力のたまものであります。山梨県地区

大会では学友会の活動が、学友・奨学生が力を合わせて、無事にかつ盛大に終える事ができたことも喜ばしい事です。この場を借りて感謝申し上げます。今後、若い世代の学友に、ますます期待するところです。併せて、先輩会員の出席率を上げることも今後の課題です。

学友会の活動目的は、奨学期間修了後も元奨学生（学友）および現役奨学生とロータリアンとの交流を深めることです。また、ロータリーの理想とする「国際交流と親善」及び「平和の創造と維持」に貢献することも目的にしています。

学友会の特徴は、学友と奨学生によって自主運用され、ロータリアンと奨学生が協力・支援する事にあります。関係するロータリー地区との協力・連絡体制の強化は勿論のこと、学友とロータリアンが相互に影響しあえる人間関係が望まれます（会則より）。これらを再確認させて頂き、これからも、ロータリアンの方々にご指導とお力添えを頂き、末永くお付き合い頂きますように、心からお願い申し上げます。

最後に、次年度も学友会は「交流・親睦」を中心に役員一同は「魅力的な」活動を企画提案し、学友の皆様は積極的に参加して頂き、全力を挙げて頑張ります！これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 米山学友会報によせて

R I 第 2620 地区 2015-16 年度ガバナー

ノグチ エイチ

野口 英一（甲府ロータリークラブ）



米山学友会の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

米山記念奨学会は、年間の奨学生採用数 720 人（卒）、事業費 12.4 億円（2013-14 年度決算）と、民間では国内最大の国際奨学事業です。これまでに支援した奨学生は世界 123 の国と地域の 18,648 人（2015 年 7 月現在）に上ります。

2620 地区の米山学友会は設立 8 年目を迎えました。有意義な活動を継続されておりますことに敬意を表します。皆様には今年度も、地区米山記念奨学委員会のオリエンテーション、面接試験、期間終了式の運営をサポートしていただくなど、多大なご支援をいただきました。

台湾・佳里 RC から R I 会長代理ご夫妻をお迎えした昨年 11 月の地区大会では、2620 地区米山学友会長の篠原曉恵さん、同副会長の上野佳子さん、米山学友の吉田恵貞さんに翻訳や通訳をお願いしました。分科会では学友会の活動を映像とパネルで紹介していただきました。ポリオ募金も行い、普段米山奨学生や

学友と触れ合う機会のないロータリアンに活動を知っていただく絶好の機会となりました。

さて、今年度の R I 会長 K. R. ラビンドラン氏のテーマは “Be a gift to the world” です。

ラビンドラン会長は「私たちは生まれると同時に命、家族、愛情を授かり、健康、教育を授かります。人生において、私たちはたくさんの『ギフト＝贈り物・才能』を授けられますが、どうしたら世間にその恩返しができるでしょうか」と述べています。私たちも授かった能力を生かし、社会に還元していきましょう。

地区活動への皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、静岡・山梨両県在住の米山学友、米山奨学生の親睦と、国際親善に引き続き寄与されることを期待しております。また、ロータリーのよき理解者である米山学友会から、1 名でも多くのロータリアンが誕生することを願ってやみません。

皆様のご健勝と、米山学友会のさらなるご発展を祈念いたします。



3. よりよい親睦交流を

2620 地区米山記念奨学委員会 委員長

アメミヤ テツヤ

雨宮 哲也（甲府ロータリークラブ）

2015-2016 年度国際ロータリー第 2620 地区米山記念奨学委員会委員長を務めました甲府ロータリークラブ雨宮哲也です。

2620 地区（山梨・静岡）学友会の皆様方にはロータリー活動に積極的にご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

2016 年 3 月 13 日（日）に 2015 学年度米山奨学生 18 名を見送り、2016 年 4 月 17 日（日）に 2016 学年度米山奨学生 17 名を迎えました。

これで 2016 年 4 月現在、前年度からの継続生 3 名とあわせて、計 20 名が当 2620 地区に在籍しています。

2016 年 3 月末現在、これまで 2620 地区から輩出した奨学生は 416 名に上り、2620 地区に学友 71 名が居を構えています（米山記念奨学会より）。

ロータリー米山記念奨学事業の使命は、将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することにあります。

国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う「心」を育てるという事業創設の願いを実現するためにも、米山学友会は社会貢献と交流活動という大きな意義を持っています。

当 2620 地区は山梨・静岡両県にまたがっていますので、活動をともにすることは難しい

面が多々あると思われます。学友の皆さんができる事から一つ一つクリアしていくことが重要です。決して派手なことはしなくて良いのです。地味な活動で良いのです。

自分たちででき得る範囲で親睦を図り、積極的に情報を交換してください。学友全員が集まる機会はなかなか難しいでしょうが、山梨・静岡の県毎の会合でも結構です。また県内の地区毎でも構いません。まず「会う機会」を増やしましょう。

ロータリー精神をひきつぐ米山学友の仲間とともに、国際親善・平和に向けたメッセージを、今後とも発信し続けていただきたいと心より願っております。



2015-16 年度地区大会にて、ランタ会員（左）とのツーショット

4. 米山記念奨学委員 二年生の記

地区米山記念奨学委員会 学友会担当委員

オヌマ タカツグ

小沼 孝次（三島ロータリークラブ）

今年6月末で米山記念奨学委員会委員を2年務めることになります。この期間、奨学生と短いものでしたが会話をする機会が多々ありました。その中で学生達が日本を理解しよう、ロータリーを良く知ろうと努力していることがよくわかりました。米山記念奨学事業の使命は『将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。』としております。ロータリー運動の良き理解者となってもらうには、ロータリアンとより多く接触し会話をすることで深い理解が得られるはずです。

ロータリアンとの会話の始まる日が4月に米山記念館でのカウンセラー研修会で、ここで対面式が有り初めて奨学生とカウンセラーが会うことになります。学生たちはロータリークラブに対する知識が無いものと思われまうから、どんな人たちがいるのか、何が行われるのか、漠として判らず不安げに来館します。

記念館にやってくる奨学生をソフトに迎え入れるために受け付けは元奨学生の学友が担当します。受付をしますと資料をわたされ、指定された席で待つことになりますが、この

時はまだカウンセラーと学生の席は別々です。学生の席は落ち着きがなくそわそわとしておりますが、カウンセラーの方には担当する学生の紹介書が届いておりますので、余裕が有り興味深く学生を見守っております。研修会はロータリーの例会と同じく開会点鐘から始まり来賓の挨拶の後、30分程過ぎた頃から対面式となります

先に学生が呼ばれ、ガバナーエレクトから記念品を頂きタスキをかけてもらい奨学生として承認されます。その後にカウンセラーが呼ばれ対面の運びとなります。お互いに挨拶の握手し相手が確かめられた後、ガバナーエレクト、カウンセラー、学生が並び記念撮影をして終わるものです。この短い時間の間に、双方良い方にめぐりあえたという安堵感が伝わってきます。

終了後は並んで着席しますので学生はほっとした表情になり笑顔がこぼれます。ロータリアンが面接した学生達ですから積極的な子が多く、又どの学生も日本語のレベルが高いので早速カウンセラーと打ち解け会話が弾みます。こんな初々しい学生達をみていますと、又カウンセラーをしてみたいなという思いになります。

昼食をはさみ、午後はオリエンテーション・米山学友会の紹介が有り、散会となります。カウンセラーと学生が談笑しながら三々五々仲良く去っていく姿は微笑ましく、学生たちはきっと世話クラブにも暖かく迎え入れられることでしょう。

地区のお世話はここまでとなります。これからはカウンセラーの所属する世話クラブに面倒を見てもらうことになりますので、世話クラブの力が大きくものを言ってきます。月

に少なくとも一回以上は世話クラブの例会に出席し（何回出席しても構いません）メンバーと交流します。研修会時にはすでにコミュニケーションは十分取れるようになっていきますから、安心してメンバーの家に招かれたり、ロータリーのイベントに参加したり、卓話をしたりと、ロータリークラブへの理解を深めていき、きっと米山記念奨学生事業の使命に沿ったロータリー運動の良き理解者に成長するであろうことを確信いたします。



学友会主催の「親睦交流イベント in 甲府」。
ルミエール ワイナリーレストラン ゼルコバの前で、小澤邦比呂前委員長（左）、米山奨学生の胡徳さん（中）とのスマイル・トリオ

5. 終了式を迎えた奨学生の皆さんへ

2015-16 年度米山奨学生カウンセラー

オ ビ ヒロユキ
小尾 博之（甲府ロータリークラブ）

米山奨学生カウンセラーの小尾です。昨年4月19日、米山梅吉記念館において新しい米山奨学生を迎えオリエンテーションが開催されましたが、あっという間の1年でした。

この間、野口ガバナー、井上アドバイザー、雨宮委員長を先頭に、事業の使命である「将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」ことに尽力されたことに感謝申し上げます。

ご存知のように、この米山記念奨学事業は外国人留学生を対象とした民間の奨学金としては国内最大規模であります。最近マスコミ等で話題となっている奨学金が返済できないケースが問題となっていますが、この奨学金制度は全額支給する制度となっており、これからこの事業が継続され、米山記念奨学生が国際社会で活躍されることを期待しています。

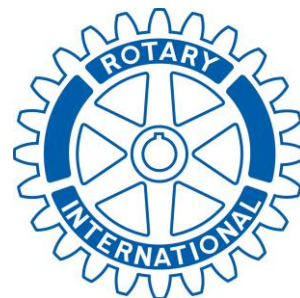
さて、これから皆さんは社会人となる方、更に大学院や他の大学で勉強される方もいらっしゃると思いますが、時には挫折することがあるかもしれません。新入社員が会社を辞めたいと思うタイミングは「三日、三ヶ月、三年」とよく言われます。一度の挫折でくよくよせず、折角自分が選んだ進路です。最低三年は辛抱してみてください。きっと新たな展開があります。私は総務の担当として長く勤務

していますが、その中で感じたことは世間でよく言われる「七五三現象」です。つまり、就職して三年以内に中学生は7割、高校生は5割、大学生の3割が離職してしまうことです。会社生活はこれまでの学生生活とは全く異なった環境になります。学生生活は横のつながりが中心でしたが、会社は縦の組織です。また、学校の試験では正解・不正解ははっきり分かりますが、社会生活では単純に決められないことが多くあります。

今は自分は育てられているんだということを理解し、新たな環境に早く馴染んでください。

米山奨学生として過ごした1年間は皆様の長い一生において貴重な経験になったことと思います。多くの仲間に出会えたことでしょう。米山奨学生としての誇りをもってこれからの生活を楽しんでいただくことを期待し、贈る言葉とさせていただきます。

（※終了式でのスピーチ原稿を加筆修正したものです）



6. 感謝を込めて・・・

2620 地区米山奨学生

ショウ ユウキ

鐘 佑希（中国、2014-15 年度、甲府 R C）

甲府ロータリークラブにお世話になっております 鐘佑希と申します。

ロータリー米山記念奨学生になってから、今まで毎週、世話クラブの例会に参加し、月に一回、例会でスピーチをしてまいりました。

これまでお話しした内容としては、自分が日本に来てから新しく体験したこと、今頑張っていること、最近見たニュースや読んだ本についての感想など、色々な話でした。

最初にスピーチをしたときは、とても緊張しましたが、だんだん慣れてきました。普段は、このように、大勢の人の前で話す機会がありませんので、例会は、私にとって、表現力を高めるためのとても貴重な練習の機会になりました。そのうえ、「今回はどんなスピーチをすればいいのか」を考えたり、スピーチの原稿を書いたりすることで、日本語の勉強にもなりました。

今、振り返りますと、米山記念奨学生になって以来、実にたくさんの立派な方々に出会い、たくさんの素晴らしい体験ができたと思います。富士山や柿田川公園での奉仕作業、甲府見学ツアー、新年会で振袖を着せてもらったこと、節分の時の豆撒きなどのほか、甲府ロータリークラブのカラオケ同好会にも誘われて、そのために、頑張って日本語の曲を練習したことも、楽しい経験でした。米山記念奨学生として過ごす間に得られたこれらの思い出は、

私の人生における貴重な宝物になります。

そして、たくさんの方々にお世話になったことを忘れてはなりません。特にカウンセラーの小尾さんは、私の論文に関する資料をコピーしてくださったり、就職活動がうまくいかない時に励ましてくださったりと、いつも優しく接してくださいました。私は、故郷から離れ、一人で異国にきて、実のところ様々な不安や悩みがありましたが、ロータリークラブのみなさまがいつも暖かくサポートしてくださったおかげで、この一年間、とても充実して楽しく過ごすことが出来ました。日本語を勉強して、日本に来て、そして米山記念奨学生になることができて本当によかったと思います。

最後に、将来の進路についてですが、去年の11月ごろ、東京の人材紹介会社から内定を頂いた後、今年の2月に静岡大学の大学院にも受かりました。どちらを選ぶのか、とても悩んでいましたが、考えに考えた末、内定を辞退して、静岡大学の大学院に入って、もう二年、経営学の勉強をすると決めました。4月からは、静岡で更に頑張りたいと思います。

これまでのご支援、どうもありがとうございました。本日をもちまして、奨学生としての生活が終了になりますが、ロータリーとの絆を大切に、これからは米山学友として活躍していきたいと思いますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

（※終了式でのスピーチ原稿を加筆修正したものです）

7. 2015-16 年度理事役員

役職	氏 名
会 長	篠原 暁恵 (シノハラ シャオフェイ)
副会長	上野 佳子 (ウエノ ヨシコ)
理 事	楊 悦 (ヨウ エツ)
	崔 暁冬 (サイ ギョウトウ)
	ラシタ アサンカ エリヤーワ
	チャリット ペレーラ
	任 佳琦 (ニン カキ)
会計 (兼)	上野 佳子
監 事	繆 良華 (ボク リョウカ)
	小沼 孝次 (オヌマ タカツグ) 三島ロータリークラブ



8. 2015-16 年度学友会正会員リスト

(学友番号順)

氏 名	出身国	現居住地	世話クラブ
篠原暁恵 (シノハラ シャオフエイ)	台湾	静岡県	船橋西
廣 建志 (コウ ケンジ)	台湾	静岡県	浜松東
吉田恵貞 (ヨシダ フェジェン)	台湾	山梨県	東京練馬西
崔 暁冬 (サイ ギョウトウ)	中国	静岡県	清水中央
楊 平 (ヤン ピン)	中国	静岡県	盛岡東
上野佳子 (ウエノ ヨシコ)	中国	静岡県	東京臨海東
邱 守蓮 (キュウ シュレン)	台湾	静岡県	神戸西
趙 春花 (チョウ シュンカ)	中国	静岡県	西那須野
陳 興華 (チン コウカ)	中国	静岡県	パワー浜松
ラシタ アサンカ エリヤーワ	スリランカ	山梨県	甲府南
チャリット ペレーラ	スリランカ	静岡県	静岡日本平
楊 悦 (ヨウ エツ)	中国	静岡県	富士宮西
常 鵬 (ジョウ ホウ)	中国	宮城県	銚田
張 艶 (チョウ エン)	中国	静岡県	長野西
栄 翌 (エイ ヨク)	中国	山梨県	河口湖
金 相均 (キム サンキュン)	韓国	静岡県	静岡
李 洪 (リ コウ)	中国	山梨県	横浜東
ダス, プロタープ	バングラデシュ	静岡県	藤枝
繆 良華 (ボク リョウカ)	中国	静岡県	浜松東
村上ティン・ザー	ミャンマー	静岡県	静岡西
任 佳琦 (ニン カキ)	中国	山梨県	甲斐
蔡 遣 (サイ ケン)	中国	静岡県	パワー浜松
林 双 (リン ソウ)	中国	静岡県	掛川グリーン
鄭 珍錫 (ジョン ジンソク)	韓国	静岡県	静岡南
周 率 (シュウ リツ)	中国	神奈川県	袋井
陳 天鵬 (チン テンホウ)	中国	東京都	甲府北
劉 栗彤 (リュウ リトン)	中国	静岡県	静岡日本平
イスラム, モハマド ジョヒル	バングラデシュ	静岡県	磐田
王 維穎 (オウ イエイ)	中国	山梨県	大月

(※会則より、年会費を納付した学友を正会員とする)

9. 今年度の活動記録（写真）



(1)	(2)	
(3)	(4)	
(5)	(6)	

(1)～(2) 2015 年 7 月 12 日、第 7 期通常総会 in 米山梅吉記念館
 (3)～(4) 9 月 5 日、RI2580 地区の米山奨学生と柿田川湧水公園清掃奉仕イベント
 (5) 10 月 18 日、RI2520 地区米山学友会ご一行が来訪。篠原会長と里見青児会長（左）
 (6) 11 月 7 日、地区大会 in 甲府富士屋ホテル



(7)	(8)	(7)～(9) 11月7日、地区大会 in 甲府富士屋ホテル (10) 親睦交流イベント in 甲府 (11) 11月8日、桔梗屋本社工場を見学、信玄餅の包装を体験（笛吹市） (12) ルミエールワインセラー見学
(9)	(10)	
(11)	(12)	



(13)	(14)
	(15)

2016年5月14日(土)
エリア別交流懇親会 in 三島
(手料理で OMOTENASHI)



(16)	(17)
(18)	

エリア別交流懇親会 in 浜松
(和菓子づくり体験)

10. 2015-16 年度期間終了した米山奨学生

(50 音順)

氏 名	国籍	現居住地	世話クラブ
石 坤 (イシ コン)	中国	中国	浜名湖
于 春蘇 (ウ シュンソ)	中国	東京都	パワー浜松
ヴ, マン ユン	ベトナム	山梨県	市川大門
ウディン, モハマド カジャマフィズ	バングラデシュ	バングラデシュ	浜松ハーモニー
ヴォ, ティ トウ トウ	ベトナム	静岡県	静岡北
王 欽 (オウ カン)	中国	東京都	笛吹
王 娜 (オウ ナ)	中国	中国	甲府南
郭 聡 (カク ソウ)	中国	大阪府	都留
金 加喜 (キム ガヒ)	韓国	静岡県	静岡西
侯 華香 (コウ カコウ)	中国	山梨県	甲府北
黄 潔 (コウ ケツ)	中国	茨城県	浜松中
鐘 佑希 (ショウ ユウキ)	中国	静岡県	甲府
ドー, クーン ベト	ベトナム	静岡県	藤枝南
韓 叡松 (ハン イェソン)	韓国	東京都	焼津
ホッセン, エムデ アミール	バングラデシュ	バングラデシュ	浜松西
朴 星辰 (パク ソンジン)	韓国	千葉県	長泉
胡 徳 (フ ドウ)	中国	静岡県	掛川グリーン
李 森 (リ ミョウ)	中国	東京都	浜松



11. 2016-17 年度新規・継続米山奨学生

(50 音順)

氏 名	国籍	世話クラブ
アミン, モハマド バドルル	バングラデシュ	浜松中
李 允晔 (イ ユンギョン)	韓国	甲府西
欧陽 東彦 (オウヨウ トウゲン)	中国	浜松南
夏 力 (カ リキ)	中国	大月
金 泰完 (キム テワン)	韓国	藤枝
グエン, ビン レチュウ	ベトナム	甲府北
謝 嬌 (シャ ショウ)	中国	都留
車 麗虹 (シャ レイコウ)	中国	静岡日本平
徐 冬閏 (ジョ トウビン)	中国	浜松西
タン, ティ ラム クエン	ベトナム	浜松北
趙 含嫣 (チョウ ユカ)	中国	甲府南
ドン, チ ピュ	ミャンマー	富士宮西
ヒュン, ソーヴァン	ベトナム	静岡西
ファン, トウック バン	ベトナム	甲府東
プトリ クスマ スギアント	インドネシア	伊豆中央
ブ, アン トウイ	ベトナム	浜松東
呂 媛媛 (リョ エンエン)	中国	浜名湖
レイ レイ ウィン ティン	ミャンマー	清水中央
呂 姣燕 (ロ コウエン)	中国	清水
駱 予倩 (ロ ヨチェ)	中国	山梨中央



12. 編集後記

茶畑の新緑が風とともに駆け抜ける5月。「会報」第6号をお届けします。

今回はRI第2620地区2015-16年度ガバナーの野口英一様をはじめ、米山記念奨学委員長の雨宮哲也様、学友会担当委員の小沼孝次様などロータリアンの皆様から心をこめたご寄稿を頂き御礼申し上げます。お陰様で充実した誌面となりました。

本年も20名の新規・継続米山奨学生を迎え、米山学友会もさらにフレッシュな活動を展開できるものと期待しております。次号に向けて、様々な活動や情報を蓄積してまいりたいと思います。お気軽に連絡をお寄せください。

上野佳子（本号編集担当者）



撮影：吉川正宏様（静岡中央 RC）

学友会事務局：

〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

公益財団法人 米山梅吉記念館 内

Tel：055-986-2946

Fax：055-989-5101

メールアドレス： yoneyama2620@gmail.com



<http://www.facebook.com/Ry2620>